



Title	漢詩
Author(s)	成田, 軍平
Citation	懷徳. 1931, 9, p. 197-198
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88846
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

貞觀十五年二月薨二十六歲

であつて、大日本史は三代實錄に依つて、皇胤紹運錄、源氏系圖の後説を誤なりとし、前説をとつてゐる。若し二十六歳説に従ふと、常康親王薨去の貞觀十一年には、御歳二十二歳であらせられる。また五十四歳説をとると、常康親王薨去の際は二十六歳になる。何れにしても壯年の御時であり、御母の出を同じくせらるる關係上、常康親王とも親しくあらせられたと思はれる。雲林院の春の花、渚院の春の花、小野山の冬の雪、思はさまぐにそのかみに馳せて感慨痛切、一篇の劇は幻想に浮ぶ。

(未完)

詩

高山仲繩百四十年祭謹賦

松坡 成 田 軍 平

草莽之臣彦九郎。率先天下唱尊王。壯哉遺烈維新業。青史長留萬丈光。

全

至孝純忠世絕儔。南船北馬幾春秋。慨歎頻說回天業。悲憤常懷經國籌。鮮血淋漓存意氣。英魂髣髴護神州。維新志士如雲起。君是勤王第一流。

賴山陽一百年祭恭賦

本朝儒士極彬彬。獨見山陽壓衆賢。經國雄文傳氣節。入神妙畫起雲烟。金聲擲地詩鋒健。玉潤驚人墨迹鮮。名史千鈞尤有力。闡明皇道筆如椽。

題四君子圖

林 田 炭 翁

王家數竿竹。陶宅三逕菊。我居有此君。折腰不干祿。林逋曾植梅。對花繙易讀。思哉楚逐臣。如蘭在空谷。其色何嬋娟。其香自馥郁。嗚呼君子人。千載守幽獨。四賢一幅圖。高風足私淑。天地絕無塵。澗有考槃樂。拂壁立畫叉。高臥小林麓。

結城宗廣

妖氛漠漠逼皇宮。建武中興見偉功。義烈千秋人仰止。流芳青史結城公。